



木村 広一 が
提案
推進

2022年度予算の主な実績、取り組み

今年度の中野区予算や新規事業の中で、木村広一が提案・推進した主な実績、取り組みをご紹介します

◆公園を魅力あふれる憩いの場に

区内では、**公明党の推進**で防災機能を備えた緑といこいの**大型公園が整備**されました。今後は、中小規模の公園についても、だれもが利用しやすい魅力あふれるとするため、区内のどのエリアでも**水遊び、ボール遊び、複合遊具遊び**ができるように環境を整えます。

公園器具やトイレの交換をするとともに、さらに**健康遊具、プレーパーク**などの新たな機能も追加します。地域とみなさまと相談した上で、時間や場所を指定し、**ドッグラン、ボール遊び**など柔軟に利用できるよう**公園ルールの見直し**も行います。

園内の照明等の**オールLED化、防犯カメラの強化**など安心して利用できる公園整備を進めます。



◆認知症予防の無料検診

日本では2025年には高齢の方の**約5人に1人が認知症**になると予測されています。中野区では公明党の推進により、若年性も含めた認知症の早い段階から相談、診断、支援ができる体制づくりに取り組んでいます。

早期発見で治療をすれば、進行を遅らせたり、とどまらせることができます。令和4年度には**無料で医療機関での認知症の検診**ができる「中野区もの忘れ検診事業」がスタートすることになりました。対象となるのは、令和5年3月31日時点で70歳から75歳の区民の方です。75歳の方には受診券をお送りし、70歳から74歳の方は希望による申込制になり、**約50か所の医療機関にて検診**を行う予定です。認知症にならない、なってもすごしやすい環境をつくっていきます。



◆食品ロス削減、区有施設での再生可能エネルギー100%切り替え

家庭や飲食店などでの食品ロス削減へ、中野区役所等での食材配布、食品ロス削減協力店「ぱくぱくパートナーズ」や区内教育機関と連携した料理教室を実施。事業者とも連携し、区民の皆さまの「食」への関心を高め、中野区全体で**食品ロス削減に取り組む計画を策定**、推進します。

区では、公明党が提案した**中野区ゼロカーボンシティ宣言**や温暖化対策計画に基づき、CO2排出削減に取り組んでいます。電力小売全面自由化に伴い、安価で再生可能エネルギーの電力の選択も可能となったため、令和4年7月から、**区有施設の再生可能エネルギー100%の電力への切り替え**開始することになりました。

区が模範の取り組みをすることで、区民や区内事業者にもCO2削減の取り組みを推進することができます。



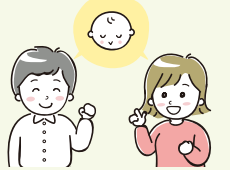
◆その他の実績

- 中野駅周辺まちづくりの推進
- 障害者、子育て、生活困窮者の相談支援強化
- ひきこもり支援事業
- シルバー世代のスマホ活用の支援と機種の貸出
- 自宅療養者への食料品、生活用品の十分な支援
- 不登校児童・生徒への教育相談・フリーステップ

◆不妊治療の保険適用範囲拡大

この4月から、不妊治療の保険適用範囲が拡大されます。日本では**約5・5組に1組**の夫婦が不妊の検査や治療を経験しているといわれていますが、経済的負担が大きく、費用を工面できずに治療をあきらめる方もたくさんいました。今回の保険適用拡大によって**原則、3割負担**となり、さらに**高額療養費制度も使える**ようになります。

産科医による専門相談も-----
中野区では妊娠を望む方や不妊に悩む方を対象に、産婦人科医による「**不妊専門相談**」とピアカウンセラー（同じ悩みを持つピア〈仲間〉の相談に乗る人）による**カウンセリング**などの体制を行っています。



木村広一が
動画で説明

◆子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が4月から始まります。定期(無料)接種対象の**小学校6年生～高校1年生に相当する年齢の女性**の方には、予診票が郵送されます。

また、接種を控えていた**8年間の未接種者も無料接種の対象**になりました。無料接種の追加対象となるのは1997年度～2005年度に生まれた女性（今年度に16歳～24歳）、期間は令和4年度から3年間に実施される予定です。

子宮頸がんは年間で約1万人が罹患し、約2800人の方が亡くなっています。**副反応が心配な方、ご家族に丁寧な説明**をするよう要望しています。



◆文化芸術、外国人の基本方針を策定

区内の文化・芸術活動のさらなる推進を目指す文化芸術基本方針が作られます。中野区ではアニメなどサブカルチャー、伝統芸能、伝統工芸など、幅広い文化芸術活動が行われています。

それに加え、**新たなまちづくりが進む中野駅周辺を中心とする観光、産業振興、そして区民が趣味で行っている活動、教育**を含め、中野区がさらに元気つくような文化芸術活動になるよう、**中野区民のための**具体的な事業、支援も要望しています。

また、**外国人住民が地域で安心して暮らす**ことができ、また地域においても様々な参加流が生み出されること、また日本文化、地域のルールの理解が進む多文化共生の推進に向けた基本指針もつくっていきます。



◆ウクライナ侵攻、核威嚇への断固抗議の決議を可決

3月9日に、「**ロシア連邦のウクライナへの軍事侵略と核威嚇に断固抗議する決議**」を中野区議会全員の賛同により可決しました。3月1日に、すでにプーチン・ロシア連邦大統領、ロシア駐日大使に抗議文は送付していましたが、改めて「核威嚇」への抗議を明らかにしました。

私は議会運営委員長として、抗議文作成に関わりました。特に**核施設攻撃を含む核の威嚇に対しては、断じて許されるものではない**ことを主題に掲げて明確に抗議するよう、調整しました。本会議で議員全員を代表して決議文を朗読し、賛同を求めました。

議会を代表して断固抗議を訴える

